

熊本県立豊野少年自然の家 指定管理者 平成30年度 管理運営評価票

所管部課:教育庁教育総務局社会教育課

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとつくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設概要	<p>① 所在:宇城市豊野町山崎1775</p> <p>② 施設:宿泊棟、プレイホール、キャンプ場等</p> <p>③ 目的:本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	300,154,000 円(4施設合計、利用料金制)

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	30,915 人	34,852 人	前年度実績 36,176 人
研修活動中の事故の有無	0 件	0 件	軽傷を除く
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>小中学校の集団宿泊利用の減少により前年度実績は下回ったものの、出前講座の積極的受入れや企画事業を充実させ、新規利用者の確保などにより目標値を大きく上回る利用者を確保した。</p> <p>県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった。研修や安全マニュアル整備・更新等を通じた、安全確保の取組を期待する。</p>			

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	ボイラー運転監視	通年	
保守点検	自家用電気工作物点検	月1回	専門業者に委託
	昇降機設備保守点検	月1回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	ボイラー保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年6回	
	害虫駆除	年1回	専門業者に委託
	受水槽・高架水槽清掃	年1回	同上
	水質検査(残留塩素)	週1回	
	水質検査	年2回	専門業者に委託
	浄化槽保守点検	月4回	同上
	自家発電設備点検	年2回	同上
	アスレチック設備点検	年1回	同上
	塩素滅菌設備点検	月1回	同上
	浄化槽法定点検	年1回	同上
建築設備定期点検	年1回		
【点検・調査結果及び評価】 施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。			

② 運営事業実績

〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
キャンプで子育て！Nature Family Land (全4回)	6～12月	120人	キャンプ活動を通じて家庭の親睦を深めるとともに、自然に触れ合うことで子供たちの感受性、自主性を育む。
げんキッズキャンプ(夏、秋各1回)	5,10月	56人	様々な体験活動をとおりて仲間と協力する大切さを学ぶとともに、何事にも積極的にチャレンジする心を育てる。
森のようちえんもくもく(全6回)	5～3月	245人	田畑で土に触れる、季節の食材を食す等の自然体験活動及び地域の方々との交流をとおりて、乳幼児期の子供たちの感性を育む。
GO！GO！自然体験隊	7/21～22	19人	様々な体験活動をとおりて仲間と協力する大切さを学ぶとともに、何事にも積極的にチャレンジする心を育てる。
宿泊教室実技講習会	7/23	51人	様々な野外活動を体験することで、体験活動の重要性や子供たちへの指導法を学び、野外活動の推進を図る。
とよドン家パーク(夏、秋各1回)	7,11月	674人	自然の家に気軽に足を運んでもらい、施設を身近に感じてもらうことにより、自然の中でのびのびと活動する場所、機会を提供する。
シンガポール訪問団と宇城市中学生の交流事業	11/17,18	31人	宇城市中学生とシンガポール交流団が、体験活動を通じて相互理解を深める機会を提供。
どんぐりクエスト2018	10～11月	101人	施設利用者へ自然と触れ合う機会を提供し、自然への好奇心、探求心を育む。
防災通学合宿(全3回)	12,2月	88人	避難所として想定した自然の家からの通学を通じて、防災意識を高めるとともに、災害時に家族や地域の中で積極的に活動できる人材を育成する。
北風チャレンジCUP	1/26,27	20人	様々な体験活動をとおりて仲間と協力する大切さを学ぶとともに、何事にも積極的にチャレンジする心を育てる。
とよのワンダフルDAY	3/3	1,170人	地元住民、団体へ施設を開放、自然の家への理解と利用促進を図り、地域との連携を深める。

【点検・調査結果及び評価】

企画事業については、利用者のニーズを考慮し、内容を吟味しながら事業を行うことで、質の高い体験活動を提供し、参加者増につなげることができている。

宿泊教室実技講習会を実施しているが、指導者の体験活動プログラムのスキル向上を図る機会提供として評価できる。今後も学校関係団体と連携し、集団宿泊事前相談と併せて継続して行っていただきたい。

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	348 日	352 日	98.8%
	宿泊可能日数	342 日	348 日	98.3%
	利用日数	269 日	287 日	93.7%
	利用率	77.3%	81.5%	94.8%
	利用者実数	10,934 人	13,595 人	80.4%
	利用者延べ数	20,449 人	26,713 人	76.6%
キャンプ場	開館日数	348 日	352 日	98.8%
	宿泊可能日数	342 日	348 日	98.3%
	利用日数	19 日	18 日	105.6%
	利用率	5.5%	5.1%	106.8%
	利用者実数	220 人	220 人	100.0%
	利用者延べ数	482 人	440 人	109.5%
出前講座等	利用者実数	13,921 人	9,023 人	154.3%
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>小中学校の集団宿泊利用の減少に伴い、本館利用延べ数は減少したものの、出前講座の企画および広報活動の成果により前年度比 54%の大幅増となった。今後も様々な利用者層の開拓、広報活動に努め、閑散期の利用者確保も含めた利用者増に努めていただきたい。</p> <p>今後は一般利用者の確保も視野に入れた、新たな事業企画の作成など新規利用者の確保を図っていただきたい。</p>				

4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目	内訳	金額(円)	
利用料金収入	本館	一般 2,245 人、高校生以下 6,404 人、就学前の者 281 人	3,191,640
	キャンプ場	一般 36 人、高校生以下 115 人、就学前の者 6 人	22,660
	宿泊を伴わない利用	一般 1,064 人、高校生以下 831 人、就学前の者 454 人	147,950
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け	58,900,000	
企画事業等収入	18 事業	1,226,800	
その他活動収入	出前講座 174 団体	523,796	
プログラム活動料金		372,900	
食事代		14,044,570	
シーツ等クリーニング代		792,910	
雑収入		158,757	
合計		79,381,983	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	—	

② 支出		
項目	内訳	金額(円)
人件費		45,335,740
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	9,049,738
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	25,040,150
企画事業費		802,102
合計		80,227,730
【点検・調査結果及び評価】		
利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて修繕を含む施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。		

5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	平成30年4月1日～平成31年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	156 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	114	73.1	36	23.1	5	3.2	0	0	0	0	1	0.6
	活動内容	85	54.5	32	20.5	7	4.5	1	0.6	0	0	31	19.9
	職員の受入れ対応	128	82.1	21	13.5	6	3.8	1	0.6	0	0	0	0
	職員の指導・助言	125	78.6	21	13.2	8	5.0	1	0.6	0	0	4	2.5
	食堂スタッフの対応	88	56.4	26	16.7	7	4.5	0	0.0	0	0	35	22.4
	食事の質	72	46.2	35	22.4	11	7.1	5	3.2	0	0	33	21.2
	食事の量	70	44.9	34	21.8	15	9.6	4	2.6	0	0	33	21.2
	屋内の施設・環境	89	57.1	37	23.7	21	13.5	3	1.9	0	0	6	3.8
	屋外の施設・環境	86	55.1	35	22.4	16	10.3	1	0.6	0	0	18	11.5
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
		112	71.8			42	26.9			0	0	2	1.3
利用者からの意見等													
【点検・調査結果及び評価】		<p>全項目において前年度と比較して「非常によい」の評価が上昇している。引き続き改善を重ね、さらなるサービスレベルの向上に取り組んでいただきたい。</p> <p>食事の質においては、利用者の意見を基にメニューの改善を行ったことが「非常によい」の上昇につながったものと見られ評価できる。今後も食堂サービスのクオリティー向上に引き続き取り組み、利用者増につなげていただきたい。</p>											

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【点検・調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
閑散期及び出前講座の利用者確保	<ul style="list-style-type: none"> ・企画事業の充実や、施設開放事業内容の充実を図り、利用者の確保に務めている。 ・広報活動の強化を行い、積極的に出前講座の受入れを行っている。
アンケートの「非常によい」の評価が低下している要因の分析及び食事の質と量	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の利用予定の団体に対して、事前説明会の中で、施設の設備や金額について詳しく説明を行っている。 ・「食事の質」の改善の取組として、以前から要望が多かった生野菜の提供を行っている。また、「食事の量」の改善の取組として年齢に応じた食事量の設定を行っている。
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>指摘事項に対する対応・取組は評価できる。</p> <p>食事の質・量の改善は各施設に共通の課題である。予算の制約はあるが、小さな改善活動を継続し、利用者の評価向上に努めていただきたい。</p>	

8 その他

アンケートの自由記述欄にも現場・共同体事務局スタッフ全員が目を通し、利用者のニーズを汲み取り、サービスレベルの向上を図っていただきたい。
--